

Reference 4: Japanese Patent 1st (unexamined) Publication No. 50-76747

- 1--elevator machine room floor
- 2--opening for guide rail 5
- 3--guide device (e.g. guide shoe or guide roller)
- 4--bolt
- 5--main guide rail
- 7--supporting rope
- 8--crane hook
- 9--machine
- 10--hoistway wall
- 11--rail bracket

符 号 の 説 明

- 1 機械室床
3 案内装置
5 ガイドレール

代理人 井埋士 高橋明天

ある。

一方、メインガイドレール 5 は機械室スラブ面から適當な高さに突き出して、昇降路盤 10 にレールブラケット 11 で固定しておく。

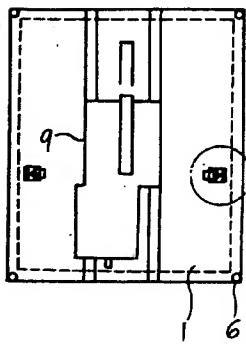
吊りロープ 7 を介し、クレーンフック 8 で吊り下げられた床 1 を降下させ、メインガイドレール 5 の上端に達したとき、案内装置 3 をメインガイドレール 5 にはめ合わせ、さらに、メインガイドレール 5 をつたつて降下させて、機械室スラブ面上に設置固定するものである。

本発明によれば、機械室床はガイドレールにガイドさせて設置すれば、据付位置が決まるのであるから、建屋の心出し、床据付時のマーク合わせが不要となり、据付作業の効率化と据付精度の向上を図れる。

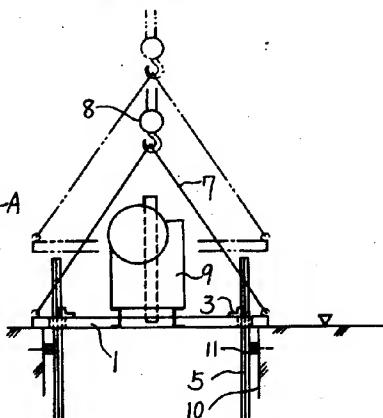
図面の簡単な説明

第1図は本発明になる機械室床の平面図、第2図は第1図の正面図、第3図、第4図は第1図のA部詳細を示し、第3図は平面図、第4図は正面図である。

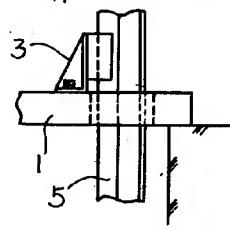
第1図



第2図

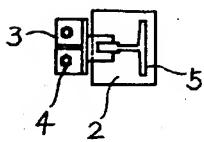


第4図 (A部詳細)



第3図

(A部詳細)



添附書類の目録

- (1) 明細書 1通
(2) 図面 1通
(3) 委任状 1通
(4) 特許権副本 1通
(5) 出願者と請求書 1通

前記以外の発明者、特許出願人または代理人

発明者

4行



(請)

⑯ 日本国特許庁

公開特許公報

特許願 71

昭和48年11月9日

特許庁長官 殿

発明の名称 エレベータ機械室床ユニット搬入据付法

発明者

住所 茨城県勝田市市毛1070番地
株式会社 日立製作所 水戸工場内
氏名 更井 政治

特許出願人

住所 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
名称 (510) 株式会社 日立製作所
代表者 吉山 博吉

代理人

住所 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
株式会社 日立製作所内
電話東京 270-2111(大代表)

氏名 (6109) 井理士 高橋 明

方式
審査



⑯ 特開昭 50-76747

⑯ 公開日 昭50.(1975) 6.23

⑯ 特願昭 48-125349

⑯ 出願日 昭48.(1973) 11. 9

審査請求 有 (全2頁)

府内整理番号

6830 38

6830 38

6504 22

⑯ 日本分類

83 C1

83 C0

86MC3

⑯ Int.C12

B66B 11/04

B66B 7/00

E04G 21/14

明細書

発明の名称 エレベータ機械室床ユニット搬入据付法

特許請求の範囲

機械室スラブ面より適當長さ突出した案内片を設け、一方機械室床にこの機械室床を前記案内片に沿つて案内する装置を設け、しかして前記機械室床を前記案内片に沿つて降下させ機械室に設置するよういたことを特徴とするエレベータ機械室床ユニット搬入据付法。

発明の詳細な説明

本発明はエレベータの機械室床を機械室にユニット搬入する方法に関するものである。

ガイドレールを利用して搬入据付けの方法は、エレベータ乗りかごや、つり合おもりにおいてはもともとガイドシューまたはガイドローラは必要なもので付属しているため、これを利用しての搬入据付けた例は多くあつた。しかし機械室床は本来ガイドは不要なものであり、据付けにあたつては機械室床に基準点をマークしておき、一方、建

屋側においても基準点を心出しし、互いのマーク合わせにより位置を決定し据付けていた。このことは建屋側の基準点心出し作業、据付時のマーク合わせなど併ない据付作業の能率を低下させていた。

本発明の目的は、従来工法の不便をなくし能率的な据付作業と据付精度の向上にある。

本発明は上記目的を達成すべく、機械室スラブ面より適當長さ突出した案内片を設け、一方機械室床にこの機械室床を前記案内片に沿つて案内する装置を設け、しかして前記機械室床を前記案内片に沿つて降下させ機械室に設置するようにしたるものである。

以下本発明の一実施例を添付図面に基づいて説明する。

図において1は、巻上機9などの機械を組込みユニット化したエレベータ機械室床、2はメインガイドレール5の通し穴であり、ガイドシューまたはガイドローラ等の案内装置3はあらかじめ必要な間隔で、床1にボルト4によつて取り付けて